石川啄木詩歌集

浅野晃編

白凰社

石川啄木詩歌集　　青春の詩集／日本篇③

昭和40年6月1日　初　版第1刷発行
昭和57年5月15日　新装版第8刷発行

著作者　石川啄木
編　者　浅野晃
発行者　高橋謙

発行所　株式会社　白鳳社
東京都千代田区神田神保町1—20
振替口座番号・東京8—92241番
電話・東京291—7571番

落丁・乱丁本はお取り替えします。
0392—1903—6906

石川啄木詩歌集

石川啄木詩歌集

浅野晃編

青春の詩集／日本篇③

白鳳社

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

目次

呼子と口笛　一
はてしなき議論の後　一一
ココアのひと匙　一三
書斎の午後　一四
激論　一五
墓碑銘　一七
古びたる鞄をあけて　二〇
家　二一
飛行機　二四
はてしなき議論の後　二五
暗き、暗き曠野にも似たる　二五

げに、かの場末の縁日の夜の　二六
我が友は、今日もまた　二八
その他　三一
辻　三三
蟹に　三五
小さき墓　三六
わが少女も　三八
物なやみ　三九
ATARASIKI MIYAKO NO KISO　四〇
夏の街の恐怖　四二
事ありげな春の夕暮　四四
柳の葉　四六
拳　四七
屋根　四八
秋の夕べ　五二
渡鳥　五四

破れた腰掛　五五
冬の夜　五五
無題　五七
一握の砂（歌集）　六一
我を愛する歌　六三
煙　八一
秋風のこころよさに　九四
忘れがたき人人　一〇一
手套を脱ぐ時　一一八
悲しき玩具（歌集）　一三三
詩人の生涯（神保光太郎）　一五九
鑑賞ノート（宮沢章二）　一六五
年譜　一七五
索引　一八九

一、本集の本文については、次の方針に従って編集した。
(1)当用字体を有する漢字は、当用字体を使用した。
(2)かなづかいは原詩のままとした。したがって、ルビ（振りがな）は旧かなづかいによった。
(3)ルビは、従来の諸版を参考にして、編者の責任において付した。
一、本集の詩篇・短歌とも、岩波書店版『啄木全集』を底本とし、他の版も適宜参考にした。

石川啄木詩歌集

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

呼子と口笛

はてしなき議論の後

われらの且つ読み、且つ議論を闘はすこと、
しかしてわれらの眼の輝けること、
五十年前の露西亜の青年に劣らず。
われらは何を為すべきかを議論す。
されど、誰一人、握りしめたる拳に卓をたたきて、
'V NAROD!' と叫び出づるものなし。

われらはわれらの求むるものの何なるかを知る、
また、民衆の求むるものの何なるかを知る、

しかして、我等の何を為すべきかを知る。
実に五十年前の露西亜の青年よりも多く知れり。
されど、誰一人、握りしめたる拳に卓をたたきて、
'V NAROD!' と叫び出づるものなし。

此処にあつまれる者は皆青年なり、
常に世に新らしきものを作り出だす青年なり。
われらは老人の早く死に、しかしてわれらの遂に勝つべきを知る。
見よ、われらの眼の輝けるを、またその議論の激しきを。
されど、誰一人、握りしめたる拳に卓をたたきて、
'V NAROD!' と叫び出づるものなし。

ああ、蠟燭はすでに三度も取りかへられ、
飲料の茶碗には小さき羽虫の死骸浮び、
若き婦人の熱心に変りはなけれど、
その眼には、はてしなき議論の後の疲れあり。

されど、なほ、誰一人、握りしめたる拳に卓をたたきて、
'V NAROD!' と叫び出づるものなし。

（一九一一・六・一五）

ココアのひと匙

われは知る、テロリストの
かなしき心を——
言葉とおこなひとを分ちがたき
ただひとつの心を、
奪はれたる言葉のかはりに
おこなひをもて語らんとする心を、
われとわがからだを敵に擲げつくる心を——
しかして、そは真面目にして熱心なる人の常に有つかなしみなり。

はてしなき議論の後の

冷めたるココアのひと匙を啜りて、
そのうすにがき舌触りに、
われは知る、テロリストの
かなしき、かなしき心を。

（一九一一・六・一五）

書斎の午後

われはこの国の女を好まず。

読みさしの舶来の本の
手ざはりあらき紙の上に、
あやまちて零したる葡萄酒の
なかなかに浸みてゆかぬかなしみ。

われはこの国の女を好まず。

（一九一一・六・一五）

激論

われはかの夜の激論を忘るること能はず、
新らしき社会に於ける「権力」の処置に就きて、
はしなくも、同志の一人なる若き経済学者Nと
我との間に惹き起されたる激論を、
かの五時間に亙れる激論を。

「君の言ふ所は徹頭徹尾煽動家の言なり。」
かれは遂にかく言ひ放ちき。
その声はさながら咆ゆるごとくなりき。
若しその間に卓子のなかりせば、
かれの手は恐らくわが頭を撃ちたるならむ。
われはその浅黒き、大いなる顔の

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo